

2 集落営農組織の法人化を軸とした担い手へ農地集積

[東津軽郡蓬田村郷沢地区 農事組合法人ごうさわ]

1 地区の概要





- (1) 郷沢地区(図の赤色外枠)は半農半漁が多く、農業は、水田を活かした水稻、そばが中心の複合経営が主。
- (2) 水田の大部分97ヘクタール(図の黒色外枠)は、昭和59年度には場整備済。

2 法人化と農地集積への動き

- (1) 個別零細経営からの脱却を目指して、平成19年3月から蓬田村唯一の集落営農組織「郷沢集落営農組合」として、75haを対象に水稻とそばが中心の作業受託をベースとした経営を展開。
- (2) 平成27年11月11日、農地集積ができるなどの法人の有利性を踏まえ、組合員22名で「農事組合法人ごうさわ」を設立。
- (3) 法人設立と並行して、村長のリーダーシップの下、農地中間管理事業を活用した農地の集積に、関係職員が総出で取り組む。その結果、27年度に74.6haを集積。
- (4) 併せて、個別の担い手も法人と住み分けて農地を集積した結果、法人と個別での集積面積は地域の農地の82%に達し、地域集積協力金は最も高い単価となった。

3 農地の集積結果

人・農地プランのエリア名		郷沢地区
地域内の農地面積	(A)	97.0 ha
農地集積面積	(B)	79.9 ha
内法人集積面積		74.6 ha
内個別担い手集積面積		5.3 ha
貸付率	(B/A)	82.2 %

凡例	
	担い手が利用する農地
	機構への貸付農地
	地域の外縁
	人・農地プランの外縁

4 今後の取組

今後は法人の安定経営を図っていくため、経理・生産管理等の研修を実施し、併せて地域集積協力金で機械・施設を導入予定。

